



王南通信



令和6年1月9日 第35号

<https://www.town.oji.nara.jp/minamigikumukyo/communication/5910.html>



ハルモのみんな、冬休み中もがんばって練習していました。何よりみんなとても仲がよくなって、いっしょにいるのが本当に楽しそう(^-^)

いよいよ3学期が始まります！！

みなさん、新年あけましておめでとうございます。冬休みを終え、新たな気持ちで3学期のスタートを迎えていることでしょう。3学期は1年間で一番短い学期です。3学期が終わると、それぞれ新しい学年に進級します。学級のメンバーも変わります。その日を楽しみにしながら、今のメンバーで過ごす残りの一日一日を大切にしてほしいと思います。

今年は大きな地震が1年の初めに起こりました。能登半島地震です。石川県をはじめ、北陸では多くの建物が倒壊し、たくさんの方が被災されました。今も、寒い中でなかなか届かない救援物資を待つ多くの人々、家族の安否を気遣って眠れない多くの人々、大切な家族を失って悲しみにくれる多くの人々が、この同じ国の中にいます。そんな多くの人たちのことを思い、今ここにいる私たちができること、私たちがすべきことをいっしょに考えたいと思っています。

昨年の始業式では、地域の方からいただいた手紙を紹介しました。やわらぎマラソンのときに、走りながら頭を下げてあいさつをした野球部の人たちに対するお礼の手紙です。手紙にはこうありました。

「走っているにもかかわらず、知らないおばさんに頭を下げてくれることにとても感動しました。それも全員が。あいさつをしない子どもが多いと言われる中で、このような礼儀ある生徒さんがいるというのに感動しましたのでご報告させていただきます。」

頭を下げた人たちは、普段していることを当たり前のようにしていたのだと思います。でもペコリと頭を下げてあいさつをしたそのことが、一人の地域の方の心を、わざわざ私にお手紙で報告しようと思うほど、温かくさわやかな気持ちにしました。その手紙を読んだ私の心まで、とても温かくさわやかな思いでいっぱいになりました。

まずは、普段から、笑顔とあいさつで私に元気や勇気をくれるみんなに心からお礼を言います。温かい気持ちを届けてくれて本当にありがとう。「あいさつは心と心をつなぐリボン」。いつも私はそう思っています。

こんなすてきな王寺南義務教育学校のみんなと、また会えました。今年も笑顔であいさつをしましょうね。さあ、3学期にはどんなうれしいことが待っているのか、今からわたしはとても楽しみです。すてきな3学期にみんなで行きましょう(^-^)

3学期の始業式で……

始業式では、左の太子学舎のみんなへ話したことと同じ内容を伝えています。違っているのは、9年生を送り出す学期であると話したこと。

「9年生はいよいよ旅立ちのときを迎えます。これまでの学校生活でそれぞれ身に付けてきた力。学力だけでなく、自分の考えをもち、それを人に伝える力。人と関わる力。そして何より自分自身を認め、自分自身を前に進めていく気持ち、意欲。そんな力で未来へ向かっていよいよ船出をするときです。9年生たちは、未来に待つ素晴らしい世界へ、それぞれ自分の船を自分自身で導いていくことになります。そんな素晴らしい船出を、旅立ちを迎える9年生を、みんなでしっかりと送り出しましょう。」

と話しました。8年生を新リーダーとする児童生徒会もスタートしています。9年生へ、これまでのお礼とエールをしっかりと伝える学期にもしてほしい。そう願っています。

6年生から5年生への平和のバトン……

6年生は、2学期に平和学習で学んだことを5年生に伝える学習発表を行いました。戦争の恐ろしさや平和の尊さを伝える目に見えないバトンが、5年生へと手渡されました。

さあ、来年は5年生が平和学習を行い、今の4年生たちにバトンを引き継ぐ番です。平和な社会の担い手へと成長するためのバトンパス。これからも大切に続けていきます。



部活動体験をみんなで楽しもう 4

美術工芸部の2学期の部活動体験の様子です。紹介が遅くなってごめんなさい。私も物を作ったり絵を描いたりするのが大好きなので、部員と一緒に体験している5、6年生の気持ちがよく分かります。先輩たちの技術を真似しながら、自分だけの表現を楽しんでください。



新しい代議員による新聞

昨年末に、各学年の新しい代議員たちがそれぞれに2学期を振り返り、学年として取り組んだことや心に残る思い出、そして今後の抱負などをまとめた新聞を発行してくれています。それぞれの学年らしさがあらわれていて素敵です。拡大版にふりがなをふって、太子学舎にも掲示しますね(^-^)

